

■なかの耳鼻咽喉科アレルギー科クリニックの屋上緑化事例

【概要】

なかの耳鼻咽喉科アレルギー科クリニックは、平成21年度から平成22年度にかけて診療所の増築を行った。当該増築部分では、1階には駐車場、2階には点滴室や待合室などがあり、3階には院長の宿直室や職員の仮眠室がある。その屋上部分について、芝による広場やトキワマンサクによる生垣などの植栽が行われている。また、沿道部分にも植栽が行われ、まちの景観形成にも寄与している。

生垣部分については、ヒメシャガやナンテンなどにより緑量の調整がなされ、ほどよい緑量となっている。また、日差しへの対策としてのガーデンパラソルなども設置されるとともに、生垣下部の煉瓦、床面の石による曲線などにより都会的な雰囲気構築されている。これらにも、芝や低木等の緑が調和し、都会的な中でも、癒しを感じるスペースが構築されている。

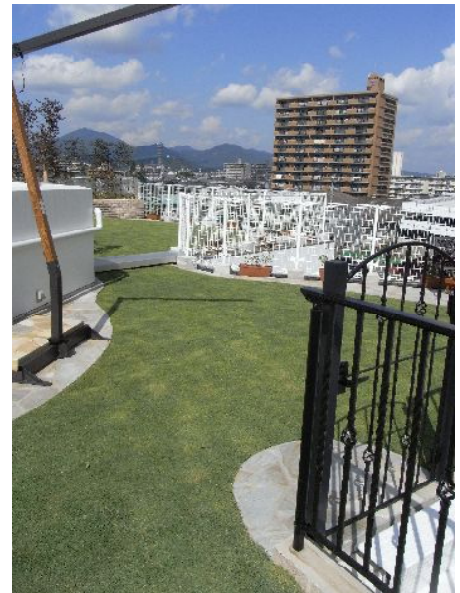
管理面においては、手動ではあるがトキワマンサクなどの植栽マスには灌水システムが導入されるとともに、60センチ程度の高さにより草取り等の作業も楽に行うことができる。更に、自然勾配もつけられ、雨水が貯留しないよう工夫されている。

当該クリニックを訪れる患者さんを含め、公開時間には誰でも自由に屋上を訪れることができ、憩いの場として活用されている。また、屋上階下の快適な環境づくりにも寄与しているとのことである。

【建物全景】



【屋上状況写真】



建築場所	熊本市田迎四丁目9-41		
用途地域	準工業地域		
建物	延べ704.62㎡、鉄骨造、3階	主用途	診療所
公開・非公開の別	公開（公開時間：平日（月～金）9:00～17:00）		
HP	http://www.nakano-clinic.net/		

【屋上緑化の概要】

なかの耳鼻咽喉科アレルギー科クリニックにおける屋上緑化に係る主なデータは、次のとおりである。

屋上緑化面積	154㎡	屋上総面積	210㎡
土壌厚	中木部 600mm 芝部 80mm	土壌の種類等	湿性多孔質人工土壌：ピバソイル
植栽	トキワマンサク55本 ナンテン、シャガ等200本 コウライ芝154㎡		
資材	貯排水ボードシステム（プライムボードシステム） 透水フィルター 貯排水ボード（プライムボード） 自着型耐根シート（ルートガードD）		
かん水	穴あきホース等	工期	H22/8/1～H22/8/31
		受託事業者	和久田建設株式会社

○快適な緑化環境

緑化は、多すぎず少なすぎない量となっており、心地よい環境を作り出す工夫がなされている。特に憩いの場が意識されており、芝による広場とそれを囲むトキワマンサクにより、街路と区分された静かな空間が創出されている。

○排水対策

植栽マスには水抜き穴を設け、また芝部には貯排水ボードを使用し、排水が効率よく行われる。また、芝部には、自然勾配を設け、雨水等が貯留しないよう工夫している。

○地上と地下の転倒防止策

トキワマンサクは、樹木が生長した時の荷重を見込んだ地下支柱によって人工地盤に固定されており、さらに、樹木の幹同士を竹によって結束することで二重の転倒防止策を施している。



